



# 山びこ

富良野市立  
扇山小学校  
学校だより  
平成31年4月25日  
第1号

## 平成31年度 スタート “チーム扇山”で子どもたちを育てる”

扇山小学校長 南部 和紀

春が到来しました。明日、明後日と雪の予報も出ていますが……。昨年工事をしていただいた暗渠（あんきょ）の効果か、早々にグラウンドの雪は解け、いいコンディションになっています。保護者・地域の皆様には、日ごろから本校教育の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。今年度も「チーム扇山」で子どもたちを育てたいと考えますので、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

4月5日（金）、新1年生38名を迎え、扇山小学校の平成31年度の教育がスタートしました。入学式には、岡野PTA会長、高田同窓会副会長をはじめ岡野議員、岡本議員、水間議員、そして連合町内会長、民生委員・児童委員の皆様、幼稚園の先生方など多くの皆様にご臨席を賜りました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

入学式で私からは、新1年生に「交通安全」と「あいさつ」の話をしました。新1年生は、とても立派な姿勢・態度で話を聞いていました。

4月20日（土）は、全校参観日でした。PTA総会も行われました。その折り、私から学校経営説明ということで、以下のような話をさせていただきました。

### 自分の考えをもち、目標に向かう児童の育成～全教育活動の充実を通して～

- ①学校の教育目標「自ら学び、ともに高め合う子どもの育成」について
- ②「判断基準は子どもの成長」  
→学校の教育活動を（見直す、やめる、新たに始める）ときの基準
- ③昨年度の学校評価結果を受けて、今年度の改善を図る。
- ④重点目標「自分の考えをもち、目標に向かう児童の育成」～全教育活動の充実を通して～  
→知・徳・体のバランス等々、様々なバランスを重視して教育する。
- ⑤「みんなの学校 扇山」→“連携”がキーワード
- ⑥学校は学校でやるべきことを精一杯やる。家庭では家庭でやるべきことをしっかりとやっていただきたい。担任と保護者は（子どもを間にはさんでの）よき子育てのパートナー。
- ⑦“マチコミメール”には、是非100%加入していただきたい。昨年度途中から、電話連絡網は廃止している。“子どもたちを守るため”にも、是非加入していただきたい。

### 扇山小学校の“働き方改革”について

- ① 取組の方向性
  - ・これまでの働き方を見直し、教員が業務の質を高めるとともに、日々の生活や教職人生を豊かにすることで、自らの専門性や人間性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行い教育の質を高めるという、働き方改革の目指す理念を共有しながら、取組を実行する。
  - ・「学校における働き方改革」は、学校はもとより、国、地方公共団体、更には家庭、地域等を含めた全ての関係者がそれぞれの立場で、その解決に向けて取り組んでいくことが重要である。
- ② 「質の高い教育活動」と「業務の精選」  
この2つを両立させることは、なかなか難しい。しかし、やっていかなければならない。
- ③ 教育の質を落とさずに、業務精選に取り組む。  
扇山小ではこれまでも、「判断基準は、子どもの成長」として教育活動を行ってきました。その基本線は変わりません。ただ、優先順位をよく考えて、「あれも、これも、どれも」ではなく、より優先順位の高いものを選んで（結果として、今までの教育活動を精選して）新年度の教育活動を行っていきたいと考えています。  
保護者、地域の皆様には、どうぞご理解とご協力をお願いしたいと思っています。